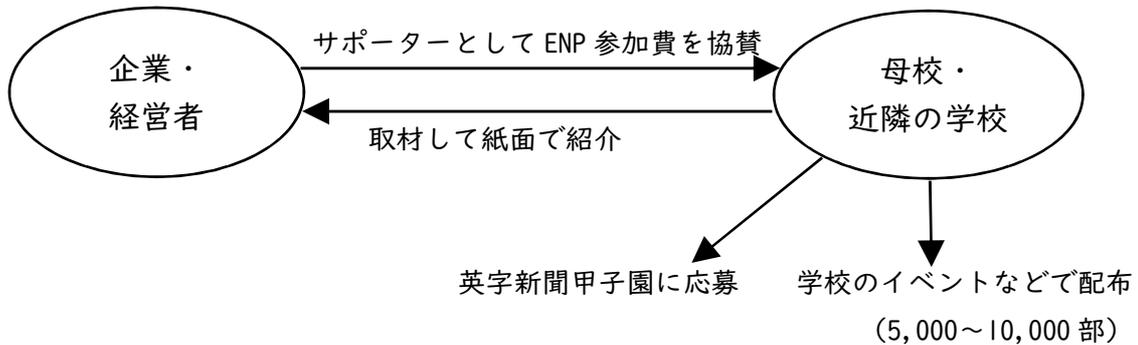


関係者各位

英字新聞制作プロジェクト 母校のサポーターとして後輩を国際人に！ 高校生が英字新聞制作にチャレンジ、協賛を柏市で募集

英字新聞制作プロジェクト（ENP）は、一般社団法人グローバル教育情報センター（GEIC）が学校向けに提供する教育プログラムです。10代の新聞購読率が5%未満、同時に実用的な英語力が求められる現在、高校生の英字新聞制作は大きな意味を持ちます。主な対象は高校生で、参加した生徒はENPに参加することにより、英字新聞制作に必要な教材とサポートの提供を受けます。企業や経営者の方々が単独、または複数で母校や近隣の学校のサポーターとしてENP参加費を協賛していただければ、その学校の生徒がグローバル人材に育つきっかけとなります。



例

國學院大學久我山中学高等学校（東京都杉並区）の生徒が作った英字新聞同校の生徒が通学に利用する渋谷駅周辺の歴史を取材。

地域振興賞と外国メディア賞をダブル受賞（2018年度英字新聞甲子園）



柏市では、麗澤高校と二松学舎大学附属柏高校が ENP にチャレンジしています。

詳しくは裏面をご覧ください。

【10代の新聞購読率は5%未満】

総務省『平成30年 情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査』の年代別の情報収集に関する調査によれば、10代の新聞の平均利用時間は平日、休日ともに1分に満たず、新聞購読の行為者率は平日、休日共に5%以下で、情報源はフェイクニュースも多いインターネットに偏っています。

【地域の魅力は観光力に比例】

株式会社ブランド総合研究所『地域ブランド調査2018』によれば、地域の魅力と観光地としての知名度は比例し、観光地ではない地域の良さが見失われがちです。

【英語教育の4技能化】

英語教育の低年齢化が進み、中学、高校ではスピーキングとライティングの学習の強化が図られています。国際化に必要である反面、学習意欲の持続が重要です。

【英字新聞制作は課題解決の糸口】

英字新聞の制作はこうした課題を改善するきっかけになります。新聞制作の経験は子供のメディアへの理解を深め、取材を通じて地元への愛着を深めます。また、取材した内容を英語で発信することは、英語のライティング学習の動機付けにもなります。

【後輩のサポーターが必要！】

企業または経営者の方々に、単独、または複数で協力して、母校や近隣の学校がENPに参加できるようご協賛いただくことで、その地域の後輩たちはグローバル人材に育つきっかけをつかむことができます。

【サポーター募集！！】

ENP参加を希望する学校のサポーターとなってくださる企業や経営者を募集します。

- ①英字新聞制作プロジェクトへの参加校を柏市で3校募集
- ②参加費は1校15万円（税抜）から
- ③毎年秋に開催する英字新聞甲子園で表彰のチャンスあり

お問い合わせはこちらまで

積才房合同会社（ENP 正規代理店） <https://www.sekisaibo.co.jp/>

代表社員 櫻井淳二 〒277-0841 千葉県柏市あけぼの3-7-1

Tel 090-4176-5842 E-mail:sakurai@sekisaibo.co.jp